

～教育委員会ニュース～

NO. 2

今、学校園がおもしろい!

2014年4月28日

発行：泉佐野市教育委員会

「始業式～新たな一年の始まり～」 北中小学校

4月8日(火)に市内の全小中学校で、始業式がありました。新しく着任された先生方や転入生を迎えて、新しい学年・新しいクラスでの学校生活が始まりました。

北中小学校の体育館では、2年生から6年生までがそろい、美しい歌声で校歌を歌いました。その後、学年の先生の紹介があり、式終了後にはクラス発表がありました。新たな仲間での1年間のスタートを笑顔で迎えることができました。

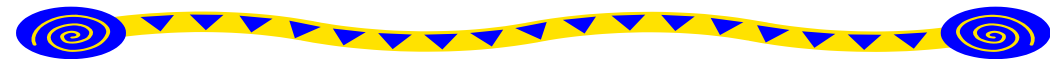


「ドキドキの対面式」 日根野小学校

日根野小学校では4月10日(木)に対面式が行われました。最高学年の6年生が、入学したばかりの1年生の手を引きながら、体育館に入場しました。6年生は自分が1年生だった時を思い出しながら、1年生はたくさんの拍手にドキドキしながらの入場となりました。2年生からは、「アサガオのたね」をプレゼントされました。



最後には、「ことし にゅうがくした いちねんせいです。おにいさん、おねえさん、よろしくおねがいします。」とみんなで上手に大きな声であいさつができ、小学校の一員となれました。



「春の味覚、わらび採り」 大木小学校



4月9日(水)、大木小学校の子どもたちが、わらび採りに出かけました。桜が満開の校庭を出発し、近くの山へ向かうまでの道沿いにも、れんげやたんぽぽ、あざみなど、春の花がたくさん咲いていました。数日前には、まだわらびの若芽が出ていないのではと心配されましたが、当日は、ちょうど食べごろのわらびがたくさん伸びていました。急な斜面にもかかわらず、5、6年生が1、2年生の手をとりながら、みんな夢中になって採っていました。たくさん採れたわらびは、この後、わらを燃やしてできた灰に一晩つけて、あく抜きがされました。翌日、5、6年生がわらびご飯を炊き、おにぎりにして全校みんなで食べました。

この2日間は、NHKの取材が入り、子どもたちはテレビカメラにも興味津々。少し緊張しながら、インタビューに答えていました。(5月放送予定)

「サトシンさんがやってきた！」 はるか幼稚園

4月18日(金)に絵本作家のサトシンさん(佐藤伸さん)がはるか幼稚園を訪問され、絵本の読み聞かせをしていただきました。この日は保育参観日ということで、親子で一緒に読み聞かせを楽しみました。

絵本『とこやにいったライオン』、『おれたちはパンダじゃない』では、テンポのいい音楽に合わせてサトシンさんが絵本を読み始め、みんなは笑顔で手拍子やリズムをとって応えていました。また、『おさるのパティシエ』では子ども達の大好きな“お菓子”をテーマにしたストーリーで、子ども達は様々な反応をして大盛り上がりでした。あっという間に時間は過ぎていきました。

サトシンさんはNHKの番組“みいつけた”の中で放送されている“おてて絵本”(両手を開いて絵本に見立て、自分でストーリーをつないで楽しむ絵本)の原案者です。読み聞かせ後半には園児と一緒に“おてて絵本”を実演し、楽しませてくれました。自分でイメージを膨らませてストーリーをすすめていたり、近くにいる大人や友だちと思いを共有することを目的としているこの“おてて絵本”。恥ずかしそうにしながらも、とても満足気な子どもたちでしたよ。

そして最後は『おかあさんだもの』を紹介してもらい、その内容にジーン・・・ときている様子のおかあさんたちでした。

限られた時間の中で、いろいろな楽しめる活動をしてくださったサトシンさん。絵本の魅力、親子のふれあいや読み聞かせることの大切さに改めて気づかせてもらったように思います。

